

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・部屋を分けて少人数で活動している	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・各部屋担当にプラスでサポートに入れる職員を配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・階段マットや扉の設置をしている ・児童の届かない場所に物を置く、おもちゃや本は引き出しにしまおうなどして事故が起きないように配慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・毎日、掃除を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・年に一回ホームページにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	80%	20%	・外部評価を行っているか不明。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・コロナのため、内部での研修のみ実施している。	
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・定期的に児童や保護者のニーズを確認して更新している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・支援計画書を確認し、目標に沿って支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・全職員で立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・全職員で毎月提案し、かたよりのないよう作成している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・個々に合わせた個別支援と、全体での集団プログラムを行い、支援計画に繋げている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・送迎表にて確認を行い、その他口頭で全員に共有。変更などは全体LINEにて共有している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・業務日誌にて毎日振り返りを行い、気になる点があれば口頭で共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・業務日誌を毎日記入し、月に一度月のまとめを記入している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・全ての職員が直接モニタリングしているわけではないが、見直しがあった場合は確認している。	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・子どもの状況に精通した者が行うが、事前に他の職員から見た様子も聞き取りし、様々な視点の様子を伝えていく。		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラ

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		・医療的ケア対象児童がいない為。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		・医療的ケア対象児童がいない為。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	40%	60%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40%	60%	・コロナのため実施できていない。	・状況が落ち着き次第検討していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%	・コロナのため実施できていない。	・状況が落ち着き次第検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	20%	80%	・コロナのため実施できていない。	・状況が落ち着き次第検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎時のお伝えや、電話にてお話をしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	80%	20%	・保護者との直接の関わりがある職員はできている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に必ず行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・相談があった場合は職員間で共有し対応を考え、レスポンスしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	・コロナのため開催できていない。	・状況が落ち着き次第開催を検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・インスタグラムにて日々の様子を投稿している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・インスタグラム投稿の際は顔や名前をスタンプにて隠している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	・コロナのため実施できていない。	・状況が落ち着き次第検討していく。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラン

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・年二回実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・服薬のある児童は必ず全員に周知し、飲み忘れのないように毎服用薬後に全員に共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		・対象児童がいないため。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・定期的に研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	40%	60%		・拘束対象児童がいないため。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・部屋を分けて少人数で活動している	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・各部屋担当にプラスでサポートに入れる職員を配置している。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・階段マットや扉の設置をしている ・児童の届かない場所に物を置く、おもちゃや本は引き出しにしまおうなどして事故が起きないように配慮している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・毎日、掃除を行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・年に一回ホームページにて公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	80%	20%	・外部評価を行っているか不明。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・コロナのため、内部での研修のみ実施している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・定期的に児童や保護者のニーズを確認して更新している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・支援計画書を確認し、目標に沿って支援を行っている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・全職員で立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・全職員で毎月提案し、かたよりのないよう作成している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	・個々に合わせた個別支援と、全体での集団プログラムを行い、支援計画に繋げている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・送迎表にて確認を行い、その他口頭で全員に共有。変更などは全体LINEにて共有している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・業務日誌にて毎日振り返りを行い、気になる点があれば口頭で共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・業務日誌を毎日記入し、月に一度月のまとめを記入している。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・全ての職員が直接モニタリングしているわけではないが、見直しがあった場合は確認している。		
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・子どもの状況に精通した者が行うが、事前に他の職員から見た様子も聞き取りし、様々な視点の様子を伝えていく。		

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラブ

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		・医療的ケア対象児童がいない為。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		・医療的ケア対象児童がいない為。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	40%	60%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	40%	60%	・コロナのため実施できていない。	・状況が落ち着き次第検討していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%	・コロナのため実施できていない。	・状況が落ち着き次第検討していく。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	20%	80%	・コロナのため実施できていない。	・状況が落ち着き次第検討していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎時のお伝えや、電話にてお話をしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	80%	20%	・保護者との直接の関わりがある職員はできている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に必ず行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・相談があった場合は職員間で共有し対応を考え、レスポンスしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	・コロナのため開催できていない。	・状況が落ち着き次第開催を検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・インスタグラムにて日々の様子を投稿している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・インスタグラム投稿の際は顔や名前をスタンプにて隠している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	・コロナのため実施できていない。	・状況が落ち着き次第検討していく。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラブ

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・年二回実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・服薬のある児童は必ず全員に周知し、飲み忘れのないように毎服用薬後に全員に共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	100%		・対象児童がいないため。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・定期的に研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	40%	60%		・拘束対象児童がいないため。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラブ 保護者等数(児童数) 回収数 10件 割合 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%	0%	0%	0%	アットホームな雰囲気 で活動を楽しめている	継続しながら、さらに 改善させていきます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	80%	10%	0%	10%	丁寧な指導、対応	継続しながら、さらに 改善させていきます
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	80%	10%	0%	10%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	90%	0%	0%	10%		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%	0%	0%	0%		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%	0%	0%	0%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	90%	10%	0%	0%		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	90%	10%	0%	0%		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	40%	10%	10%	40%	コロナ禍のため、機会を作るのが難しい	落ち着き次第、状況を見て検討していきます
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	90%	10%	0%	0%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	70%	20%	0%	10%		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	90%	10%	0%	0%	とても丁寧に伝えてくれている、記録も分かりやすい	継続しながら、さらに 改善させていきます
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	90%	10%	0%	0%		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20%	30%	20%	30%		
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	80%	10%	0%	10%			

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラブ 保護者等数(児童数) 回収数 10件 割合 100%

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	80%	10%	0%	10%		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	70%	10%	0%	20%		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	90%	0%	0%	10%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	60%	10%	0%	30%		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50%	20%	0%	30%		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%	楽しく楽しんでいる	毎日楽しんでもらえるよう、更に支援していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:平成 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・少人数での部屋分けをしている。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	・各部屋担当に加えサポートの職員も配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	80%	20%	・階段や教室にクッションマットを設置している。 ・一軒家のため限りがある。	・階段の上り下りに支障のある児童はいない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・年一回評価表アンケートを実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・年一回ホームページにて公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・コロナのため、内部での研修のみ実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・毎月全職員で立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・バランスを考えて立案している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・平日は時間配分を考え、長期は長期目標の活動を行って	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・送迎表にて確認し、変更点などは口頭で共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・業務日誌での振り返りを行い、気になる点は口頭で共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・毎日業務日誌を記入し、月ごとの記録も記入している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	100%	0%			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・精通した者が行うが、全職員から聞き取りを行い、様々な視点からの情報を伝え		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:平成 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラブ

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・お迎え時に共有を行っている。下校時刻等は事前に保護者様に確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		・医療的ケアを必要とする児童がいないため。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	60%	40%		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%		・移行した児童がいないため。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%	・コロナのため研修は行えていないが、電話等で連携している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%	・コロナのため。	・状況を見て落ち着き次第検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%	・コロナのため。	・状況を見て落ち着き次第検討します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・送迎時の伝達や電話にてお話をしている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に必ず確認している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	・コロナのため。	・状況を見て落ち着き次第検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・苦情があった場合は早急に全職員に聞き取りを行い、解決に向けて迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・インスタグラムにて日々の様子を投稿している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	・コロナのため。	・状況を見て落ち着き次第検討します。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表:平成 4年 2月 21日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラブ

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・年二回実施している ・活動にて児童も行う	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・定期的に研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	20%	80%		・拘束対象児童がいないため。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	20%	80%		・食物アレルギー対象児童がいないため。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 4年 2月 21日 アンケート期間:平成 3年 4月 1日～平成 4年 1月 31日

事業所名 児童発達支援・放課後リリークラブ 保護者等数(児童数) 回収数 12 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	75%	8%	0%	17%		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	75%	0%	0%	25%		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	67%	0%	0%	33%		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	100%	0%	0%	0%	・制作など手作業の内容があり、目を使った活動がより楽しかったり課題に向けて良いと思う。	・これからも課題に向けて楽しむながら取り組める活動を計画していきます。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	100%	0%	0%	0%	・曜日によって違うため楽しく過ごせていると思う。	・引き続き様々な活動を計画していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25%	25%	25%	25%	・コロナ禍のため仕方ないと思う。	・状況を見て落ち着き次第検討します。
保護者 への説明 等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	100%	0%	0%	0%	・変化がわかりにくい部分を共有してもらって助かっている。	・これからもこまめな共有を心がけます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%	0%	0%	0%		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	41%	25%	17%	17%	・特に必要と思わない。 ・コロナのためできていない(説明会等)。	・状況を見て落ち着き次第開催を検討します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	92%	0%	0%	8%	・今のところ苦情なし。	・苦情があった場合は早急に全職員に聞き取りを行い、解決に向けて迅速に対応していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%	0%	0%	0%		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	83%	0%	0%	17%	・インスタグラムの更新を楽しみにしている。	・引き続きインスタグラムにて日々の様子を投稿していきます。
14 個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	0%	・インスタグラムは顔をスタンプで隠しています。	・引き続き個人情報の保護に気を付けていきます。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	83%	0%	0%	17%	・もしもの時は不明。 防犯マニュアルなどは行われていると思う。	緊急対応時マニュアルに沿って行っています。必要があれば開示いたします。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	75%	0%	0%	25%		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	92%	8%	0%	0%	・友達と遊びたい時に行きたくないと言ったことがある。 ・友達に会えるのを楽しみにしている。	・これからも楽しんでもらえるよう支援していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	・フォローもしてもらって助かっている。	・より向上しながら支援していきます。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。